

# オデイラのカルト

Odayla and Odaylan

狩人の神

h t A

## 1. 神話と歴史

大暗黒で、オデイラはオーランスの息子達、雷鳴の兄弟の一人として生まれた。

アーナルダが、混沌から隠れるために地界に逃げ、オーランスが偉大な探索に出発した時、オデイラはエルマルの命令の下、後ろに留まっていた。アーナルダの恵みなしには、食物は不十分にしか育たなかった。オデイラは、一人十分に食べていたインキンに、どこで食物を見つけているのかと、尋ねた。インキンは、その後どのようにネズミを狩るかをオデイラに見せたが、それは全てのひもじい人々を食べさせるには不十分であった。

オデイラは弓と投げ槍を装備し、多量な獲物を探しに、インキンと共に出発した。インキンの助けで、彼は猪や鹿、兎や他の獲物を持って帰った。タイ・コラ・テックは、その時、動物が生まれ変わり、再び獲る為に送り返す秘密を彼に見せた。彼は、どの様に全ての獲物を最適に使うことが出来るかを身に付け、必要な数以上を殺さないようになった。

ある日、オデイラが森の中で狩りをしていると、彼は大きな叫び声を聞いた。最初、オデイラはウロックスが戻ってきたと考え、ウロックスがオデイラに彼の怒りを取り出す場合に備えて、こっそり近づいた。彼が接近したとき、彼が見たのはウロックスではなく、ワクボスがストーム・ブルの猛威に反撃するために育てたウレインだった。ウレインはオデイラの臭いをかぎ、彼の脳味噌を嚼むために、彼の方へ走ってきたが、狐とイタチのように、オデイラはエルマルを追ったが(2昼夜走ったが、と言う意味か?)、ウレインは彼を見つけることが出来なかった。ウレインはオデイラを殺そうとして突進したが、オデイラは、エルマルをだましたように、彼をだまし、ウレインが見ることの出来ない場所から彼に弓を射た。エルマルが何が起きているのかを見るために戦士達とやってきて、彼を追い払うまで、ウレインの怒りはだんだん大きくなり、彼の叫び声が徐々に大きくなっていった。

オーランスが帰ってきたとき、エルマルはオデイラの物を含め、彼の輪の全ての功績を物語った。オーランスは、彼の実績を評価して、彼の狩人と斥候として、オデイラを指名した。

オデイラは「調和」と「死」のルーンに関係がある。また彼は「風」のルーンにも関係がある。

## 2. 世界におけるカルト

オデイラのカルトは、全ての狩人を援護する、オーランスの狩人のカルトである。それはオーランス信徒の住む領域であまり一般的でなく、農業地帯では少なく、都市部では事実上知られていない。カルトは、捨子のために見劣りして、ブラックスやパヴィスの回りではとても希である。

カルトの重要性は、地域的に、食事がどの程度狩りによって養われているかで決定する。

大聖日は「嵐の季」「調和の週」「風の日」である。

社では《命中》を教えている。

## 3. 入信者

義務：通常通り。技能は 追跡 聞き耳 修理 発射武器 攻撃(種類は問わない)

入信者は、自分の氏族に寄贈するために、各季に少なくとも1匹の獣を捕らえ、殺さなければならない。彼らは食料のためにどの様

な動物を殺すときでも《穏やかなる死》を使わなければならない。加えて、入信者は、自衛か、偶然以外では、アリンクスを害してはならない。

彼らは 製作(屠殺) と 調教(アリンクス) のカルト技能を学ぶことが出来る。

**精霊魔法**：《破裂》《早足》《穏やかなる死》《減速》《加速》

## 4. 狩りの達人

志願者は狩りの達人の空席がなければならず、製作(屠殺)が90%以上必要で、その年の狩猟大会に完全に勝たなければならない。狩人は一人で鎧を着けずに行動せねばならず、勝者は最も堂々とした獲物の動物を持って帰ってきた者である。

**一般神性魔術**：《カルト精霊支配》《神託》《破門》《傷の治癒》《聖域》《霊視》《呪文伝授》《礼拝(オデイラ)》

**特殊神性魔術**：《支配(アリンクス)》《獲物混乱》《引率》《命中》

## 5. オデイラカルト特殊技能

**調教(アリンクス) Train Alynx (知識分野技能 10%)**

このスキルはオーランス信徒が捕らえたアリンクスを調教するために使用される。このスキルを使う毎に、通常の訓練と同じように、アリンクスの狩りの技能のうち一つ(嗅覚 追跡 視覚 戦闘 などを)を上昇させるか、一つの簡単な命令に従わせるためにアリンクスを調教できる(この訓練には100時間かかる)。どの程度複雑な命令が訓練できるかなど、この技能の他の面は、GMの判断による。

## 6. オデイラ特殊神性魔法

**《獲物混乱》 Confuse Prey**

1ポイント、連隔、残照、複合不可、再使用可

この呪文の持続時間の間、対象は術者を知覚することが非常に困難になる。もし、通常知覚が自動的に出来るものなら、ターゲットは知覚技能に成功しなければならない(視覚 嗅覚 聞き耳など)。もし、対象が通常技能を使うことが必要な場合、その成功率は全ての修正を加えて後で、半減する(隠れる が-30%の修正を加えた後で半分など)。

## 7. 下位カルト

### 復讐精霊

INT13、POW40。

この精霊は《霊視》を除いて、探知できない。それは背教者について行き、背教者が狩りをしようとする、人や獣など全ての獲物に警告する。それはダーカ・ファールの足へ犠牲者を追うと言われており、オデイラに再参加することによってのみ退けられる。

それは縛られることはないが、24時間までには精霊達によって追い払われる。

## 8. 友好カルト

### エルマル

エルマルは《盾》を提供するが、彼はまだ崇拜されている。イェルマリオはオデイラとは友好的でない。

### オーランス

オーランスは狩りの達人に《飛翔》を提供している。

## インキン

このカルトによって雇われることをアリンクスに認めている。インキンは狩りの達人に《句判じ》を提供している。

## 9 . その他

オデイラは「風の王」に《命中》を提供する。

## 10 . この文章について

著者 : Stephen Watson

翻訳者 : R I Z E / 奥田和幸(zorak@nifty.com)

協力 : 村瀬尚之氏

このカルト記述はStephen Watson氏が作成した物を、R I Z E が翻訳した物です。翻訳に関して、村瀬尚之氏に多大な協力を頂きました。感謝いたします。

この文章は公式版ではありません。各人の選択において使用して下さい。この文章により、何らかの害を受けたとしても、著者並びに翻訳者、協力者は、なんら関知いたしません。この文章は、非営利目的においてのみ、複製が許可されます。

初めての翻訳で、英語版を持っていないためもあり、訳文がおかしいところが多々あります。お気づきの点がありましたら、R I Z E の方にご連絡下さい。